

ご町内のみなさん。おはようございます。こちらは、日本共産党庄原市議会議員の藤木くにあきでございます。日ごろよりあたたかいご支援をいただき、本当にありがとうございます。この場をおかりしまして、日本共産党のお訴えをさせていただきます。大変お騒がせいたしますがしばらくの間ご協力をお願いいたします。

さて、みなさん。いま、日本国憲法は大きな試練にさらされています。ヒロシマ、ナガサキの原爆にいたる残虐な兵器によって、5千万人を超える命を奪った第2次世界大戦。この戦争から、世界の人々は、「国際紛争の解決に武力を使うべきではない」という教訓を導きました。この戦争に多大な責任を負っていた日本は、戦争放棄と戦力をもたないことを定めた「日本国憲法」を制定し、こうした世界の人々の意思を実現しようと決心いたしました。

しかし、憲法制定から半世紀以上を経たいま、憲法9条を中心に、日本国憲法を改悪しようとする動きが、かつてない規模と強さでもちあがっています。その意図は、「日本をアメリカに従って戦争する国に変えること」にあります。そして、子どもたちを「戦争する国」を担う若者に育てるため、教育基本法も変えようとしています。これは、武力によらない紛争解決をめざす、日本のあり方を根本的に転換するものではないでしょうか。

ご町内のみなさん。アメリカのイラク攻撃と占領の泥沼化は、武力による紛争解決が、いかに非現実的であるかを明らかにしています。こうした教訓をふまえたとき、日本国憲法の9条を、外交の基本にすることがどんなに大切か、はつきりしているのではないでしょうか。

日本国憲法9条をもつ国だからこそ、アジアをはじめとする諸国民との友好、協力関係を発展させることができるのではないでしょうか。

日本と世界の未来のため、日本国憲法9条を守ろうという一点で手をつなぎ、なんとしても、憲法改悪のくわだてを、くいとめようではありませんか。

私たち日本共産党は、平和を求める世界の人々と手をつなぎ、日本国憲法を守り、毎日のくらしにいかしてゆくため、全力をつくす決意でございます。どうか、ご町内のみなさんのあたたかいご支援をいただきますよう心からお願いいたします。お訴えとさせていただきます。

ご清聴いただき、誠にありがとうございます。大変お騒がせいたしました。どうか、よろしく願います。